

油津港

宮崎県県土整備部港湾課

〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1

☎0985-26-7188

URL : <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kowan/kurashi/shakaikiban/page00098.html>



1. 概況

油津港は宮崎県の南部の中央に位置し、大島・七つ礁の島により波浪を遮へいし、天然の良港として古くから知られ、奈良朝の頃は遣唐船が寄港、足利時代には天龍船に薪・水、食料等を供給する中継港として栄えた。

江戸時代には、飢肥藩主の手により延長900mの堀川運河の開削が行われ、飢肥杉の搬出がなされた。その後農林産物の需要増加に伴い、船舶の出入りは益々盛んとなり、明治に入り阪神方面との航路が開かれ、明治27年には県費支弁港湾に編入され、泊地の浚渫、木造棧橋を設置し近代的港湾の第一歩を踏み出した。

その後、大正2年には飢肥・油津間に県営鉄道が敷設され港湾と内陸部との流通がスムーズに行われるようになった。

また、古くから漁港としても知られ、県南沖合近海漁業の出漁根拠地および水揚地として県内外の漁船に利用され、その漁獲高も年々増加し、大正6年には農商務省が全国に6ヶ所漁港を指定した中に入り、我が国はじめての地方漁港補助で修築事業により整備され、国内有数の漁港となった。

昭和時代に入り鹿兒島、沖縄、阪神、関門との定期船、朝鮮・満州方面への木材輸出等、出入船舶は頻繁となり、昭和6年より本格的修築事業を開始し、昭和15年までに外防波堤、大・小型接岸施設等の建設を行った。その間昭和11年には油津港背後の内陸部に日本パルプ工場（現・王子製紙）が操業を開始し、原料及び製品は油津港を経由された。

戦後になり国土総合開発の特定地域として南九州一帯が指定され、昭和26年に第三種漁港の指定、昭和27年2月に重要港湾の指定、昭和29年には貿易港の指定を受けるまでに躍進した。本港の整備は、昭和30年2月の第6回港湾審議会の議を経て決定された港湾計画に基づき進められ、昭和36年度より49年度まで、5,000トン公共バース、道路、石油基地造

成などの整備が実施された。

昭和51年11月の計画改訂では、木材を中心とした地場産業の育成や漁業振興、観光の振興などを基本方針としており、昭和62年より整備を進めていた東地区の9号岸壁（-10m）及び10号岸壁（-12m）が平成10年に完成し、大型のチップ船が入港できるようになった。なお、9・10号岸壁埠頭では、SOLAS条約に基づく保安対策を実施している。また、平成27年3月の港湾計画の一部変更において、大規模地震災害時における輸送体制を早急に構築するために大規模地震対策施設計画を変更しており、現在、10号岸壁において耐震化工事を進めている。

平成6年3月には、物流機能の充実や海洋レジャー需要の増加への対応、海と触れ合える魅力ある空間の創造などに対応するため計画を改訂。平成11年にはRORO船の東京航路が就航し、平成13年にはコンテナ船の韓国航路、平成21年にはコンテナ船の神戸フィーダーが就航した。しかし韓国航路については、平成29年10月より休止となっている。

堀川地区においては、平成19年までに、堀川運河を中心とした歴史的財産を生かした環境整備を行った。また、クルーズ船寄港時におけるおもてなしや、堀川運河の周辺施設を活かした地域振興の取り組みが評価され、平成30年5月に「みなとオアシス」に登録されている。

平成27年2月には、16万トン級の大型クルーズ船寄港に向けた、着脱式の係船柱や防舷材を設置する係留施設の大幅改良整備が完了し、世界最大の22万トン級の大型クルーズ船に対応するための整備についても平成29年12月に完了した。さらに、令和2年1月にファーストポートとしての受け入れが可能となり、令和6年3月に初の受け入れを実施した。

また、令和5年からは貨物船の大型化に対応するため、第10岸壁（-12m）の延伸整備を進めている。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	47	2,027,046	34	1,990,230				
内航商船	506	3,149,274	7	516,450	201	2,394,216	5	49,160
自航 その他	1,840	197,518						
合計	2,393	5,373,838	41	2,506,680	201	2,394,216	5	49,160

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船			13	36,816				
内航商船			32	78,133	31	23,451	230	87,864
自航 その他	4	19,231	12	23,156	126	96,820	1,698	58,311
合計	4	19,231	57	138,105	157	120,271	1,928	146,175

最大入港船舶のトン数 171,598総トン（喫水 8.5m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	34,676	100.0			34,676	100.0				
輸入	569,578	100.0			569,578	100.0				
計	604,254	100.0			604,254	100.0				
移出	201,039	100.0	2,448	1.2	26,617	13.2	30,012	14.9	18,234	9.1
移入	237,060	100.0	3,450	1.5	5,724	2.4	68,316	28.8	51,943	21.9
計	438,099	100.0	5,898	1.3	32,341	7.4	98,328	22.4	70,177	16.0
合計	1,042,353	100.0	5,898	0.6	636,595	61.1	98,328	9.4	70,177	6.7

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	4,356	2.2	117,572	58.5	666	0.3	1,134	0.6		
移入	28,173	11.9	14,271	6.0	159	0.1	65,024	27.4		
計	32,529	7.4	131,843	30.1	825	0.2	66,158	15.1		
合計	32,529	3.1	131,843	12.6	825	0.1	66,158	6.3		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	16,318	8,159	8,159
内国航路	8,042	4,021	4,021
計	24,360	12,180	12,180

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公 共)											
東地区	第1岸壁	5.0	70	1,000	1	ジブクレーン	38	1	2	2,985	砂、砂利、石材 木材チップ、製造食品
	第2岸壁	7.5	130	5,000	1						砂、砂利、石材
	第3岸壁	5.0	70	1,000	1						官公庁船
	第4岸壁	5.0	78	1,000	1						
	第5岸壁	5.5	194	2,000	2						
	第6岸壁	7.5	150	5,000	1						再利用資材 原木、化学薬品
	第7岸壁	7.5	152	5,000	1						
	第8岸壁	6.6	102	3,000	1						
	第9岸壁	10.0	185	12,000	1						コンテナ、シャーシ
	第10岸壁	12.0	240	30,000	1						木材チップ、紙・パルプ
	第1栈橋	5.5	160	2,000	2						
漁港区	第1岸壁	5.0	454	1,000	5						重油、水産品
(専 用)											
第10管区海上保安部	浮栈橋	5.0	15	500	1						官公庁船

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場		134,089m ²
普通倉庫		
1～3類倉庫	3	3,776m ²
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	12.0	66,200
	10.0	31,480
	7.5	300,269
	6.6	4,113
	5.5	24,457
	5.0	24,336
	4.0	53,770
1.0～3.0	28,152	
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
油津港湾労働者福祉センター	1,015

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	8,422
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

東地区

埠頭名	東埠頭
ターミナル面積	16,900m ²
岸壁延長	185m
水深	10m
荷役機械	JC1基
アウトリーチ	32m
リーファープラグ	8基
荷役方式	リーチスタッカー方式

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

名称	区分	面積(m ²) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
堀川緑地		5,440 (18)	-	修景緑地	昭和52年度	広場、トイレ 1 パーゴラ 1	遊歩道 885 m
港湾緑地		519 (26)	-	緩衝緑地	昭和48年度		
東地区緑地		13,000 (10)	-	緩衝緑地	平成11年度	広場、駐車場、トイレ 1 水飲場、ベンチ 1	遊歩道 230 m
中央緑地 (堀川遊歩道、 夢見橋)		11,796 (21)	1,007	修景緑地	平成19年度	広場、駐車場、トイレ 1 木橋1、東屋1、水飲場 ベンチ 14	遊歩道 974m

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役 (一貫)	船内	沿岸	はい か だ
日本通運(株)日南支店	〒887-0041 日南市吾田東2-6-1	0987-23-2148	○				
王子物流(株)日南事業所	〒887-0031 日南市大字戸高1850	0987-23-3606	○				

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
宮崎県油津港湾事務所	〒887-0001 日南市油津4-12-16	0987-23-3125	1

医療・厚生施設

(港湾)

区分	名称	所在地	電話番号
総合厚生	油津港湾労働者福祉センター	〒887-0001 日南市油津4-14-1	0987-22-3368

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
門司税関細島税関支署油津出張所	〒887-0001 日南市油津4-12-1(油津港湾合同庁舎)	0987-22-2879
宮崎海上保安部	〒887-0001 日南市油津4-12-1(油津港湾合同庁舎)	0987-22-3021
宮崎県油津港湾事務所	〒887-0001 日南市油津4-12-16	0987-23-3125

